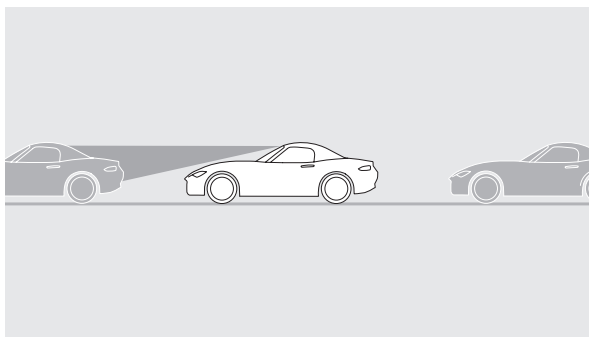


ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

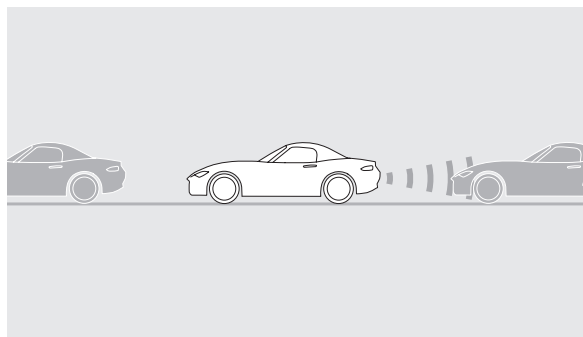


前方の車や歩行者を検知する **運転支援機能**

アドバンスド・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスドSCBS)*夜間歩行者検知機能付^{※1※7}

先行車や前方の歩行者をカメラで検知し（対車両：約4～80km/h走行時、対歩行者：約10～80km/h走行時）、ブレーキを制御して衝突回避をサポート。また、夜間の歩行者検知精度の向上を図りました。

<標準装備>



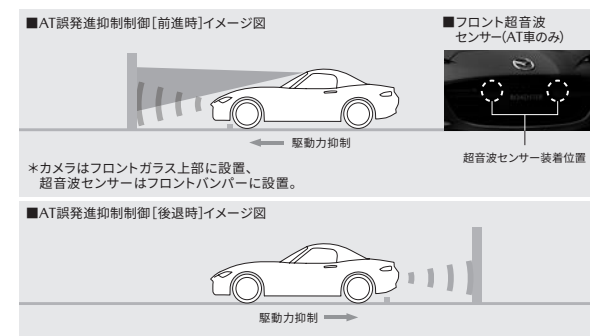
後進時に車や障害物を検知する **運転支援機能**

スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)^{※2※7}

約2～8km/hで後退時に、超音波センサーで障害物をとらえ、衝突の危険性を判断。ブレーキを制御し衝突の被害を軽減します。

<標準装備>

■リアパーキングセンサー（センター / コーナー）：
リアバンパーの超音波センサーで近距離の静止物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。



ペダルの踏み間違いによる誤発進を抑制する **運転支援機能**

AT 誤発進抑制制御 [前進時 / 後退時]^{※2※3※7}

約10km/h以下の徐行中や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に車両や壁などの障害物を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑えて急発進を抑制します。

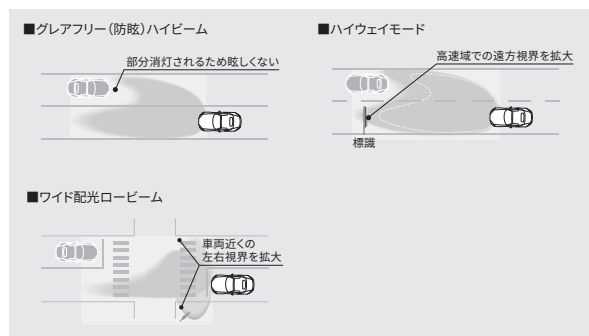
<標準装備 (AT車)>

*イラストは機能説明のイメージです。



※1 対象物（特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 対象物（レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い、坂の繰り返しなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 道路状況（急カーブ、急な坂道など）、天候状況（雨・雪・霧など）、障害物の形状（低い・小さい・細いなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 周囲に光源があるとき（街灯・信号機など）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（カーブが多い・起伏が激しいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き（ハイビーム）と

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する

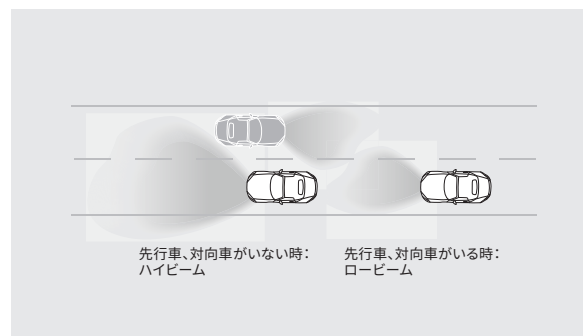
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※4※7

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- グレアフリー（防眩）ハイビーム：
 - 約40km/h以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム：
 - 約40km/h以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード：
 - 約95km/h以上でより遠方を照射

*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。



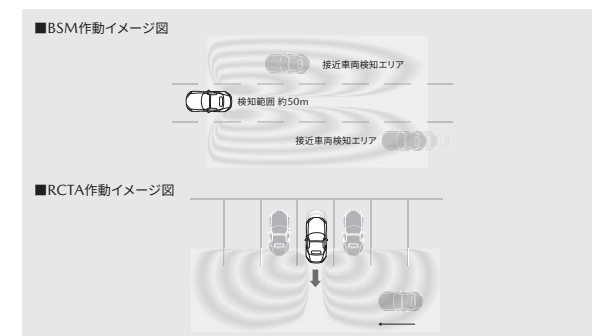
夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) ※4※7

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- ハイビーム：
 - 約30km/h以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- ロービーム：
 - 前方に先行車や対向車のランプ類を検知したとき / 街灯が並んでいるエリアや、路面の明るい街中を走行しているとき / 約20km/h未満で走行しているとき



死角からの他車両の接近を通知する

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) ※5※7 & リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) ※6※7

BSMは後方から接近する車両の存在を知らせ、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。約15km/h以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウinker操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。RCTAは駐車場などから後退するとき、左右後方に接近した車両を検知してドライバーに警告します。

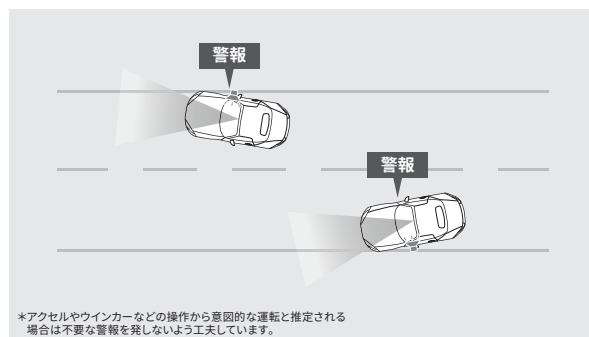
<標準装備>

- 検知エリア (BSM)：
 - 自車の左右に隣接する車線で、自車のドア後端から自車の後方約50mまで

*イラストは機能説明のイメージです。

下向き(ロービーム)を切り替えるなど安全運転を心がけてください。※5 天候状況(雨・雪など)、接近車両の状況(自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況(道路幅が極端に広い/狭いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※6 天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※7 アドバンスドSCBS、SCBS R、リアパーキングセンサー、AT誤発進抑制制御、ALH、HBC、BSM、RCTAは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術 / 運転負荷を軽減する安全技術



ドライバーに車線の逸脱を警告する

車線逸脱警報システム(LDWS)※1※3

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約45km/h以上での走行中にカメラが車線の白線(黄線)を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

<標準装備>

*LDWS: Lane Departure Warning System

*イラストはランブルストリップス音選択時のイメージです。



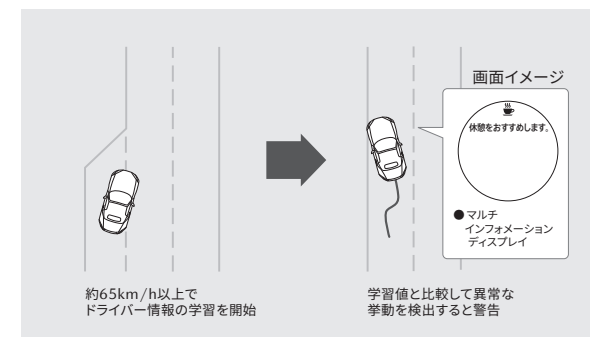
少ない視線移動で表示認識できる

交通標識認識システム(TSR)※2※3

走行中にカメラで速度制限、進入禁止などの交通標識を読み取り、その情報をメーター内のマルチインフォメーションディスプレイに表示。制限速度の超過などをドライバーに警告、安全運転を促します。

<対象グレードはP02をご確認ください>

*TSR: Traffic Sign Recognition system



ドライバーへの休憩をお勧めする

ドライバー・アテンション・アラート(DAA)※3

ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約65km/h以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。マルチインフォメーションディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。

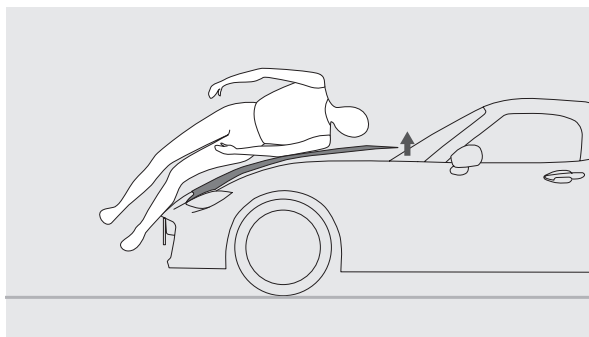
<対象グレードはP02をご確認ください>

*イラストは機能説明のイメージです。



※1 天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 ※2 対象標識(明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 ※3 LDWS、TSR、DAAは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。
 ※4 HLAはあくまでもドライバーのブレーキ操作やアクセル操作等を補助するシステムです。したがって安全性の確保にも限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。
 ●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術

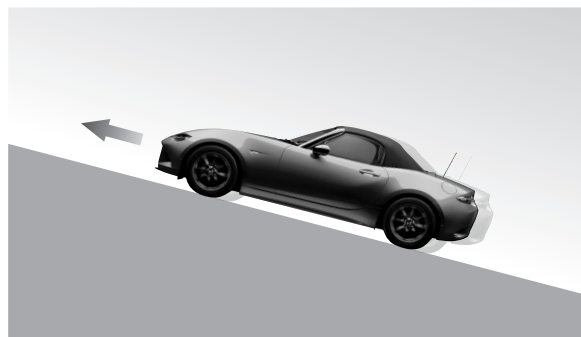


歩行者の頭部を守る

アクティブボンネット (歩行者保護システム)

一定速度の範囲内で走行中に一定以上の衝撃を感知すると、ボンネット後部を瞬時に持ち上げてエンジンとの間にスペースを確保し、歩行者の頭部への衝撃を緩和させます。

<標準装備>



坂道発進をサポートする

ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) ※4

坂道での発進時、車両の後退を緩和してスムーズな発進をアシスト。坂道で停車すると自動的に作動、下り坂でのバック発進時にも作動します。

<標準装備>

乗員の体をしっかりと受け止める

SRS※5エアバッグシステム 運転席&助手席、サイド (頭部用 / 胸部用)

全車にSRS※5エアバッグシステム 運転席&助手席を標準装備。一部グレードはSRS※5エアバッグシステム サイド (頭部用 / 胸部用) も標準装備しています。

<対象グレードはP02をご確認ください>

※5 SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。サイドエアバッグは横方向からの衝撃を感知した場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

*イラストは機能説明のイメージです。

**安全運転サポート車 (サボカー S・ワイド) に該当**

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車 (サボカー S・ワイド)」に該当しています。サボカー S・ワイドは、被害軽減ブレーキ (対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



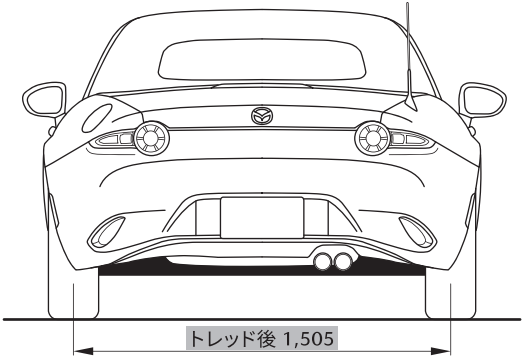
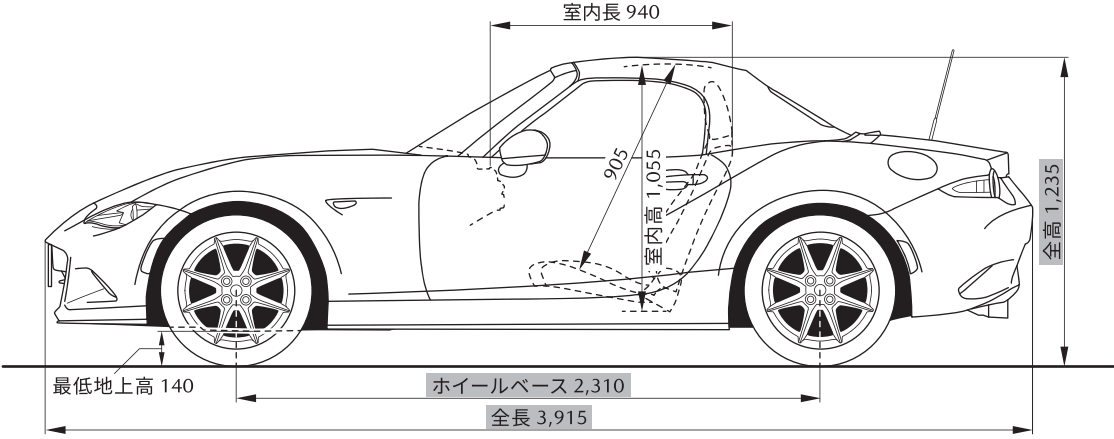
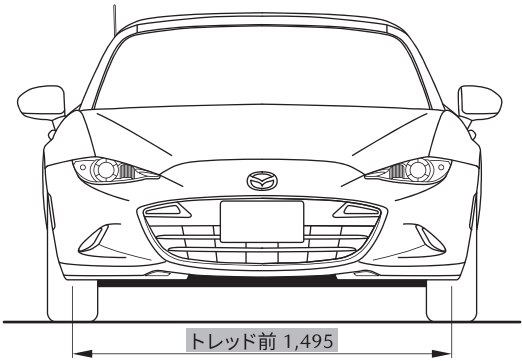
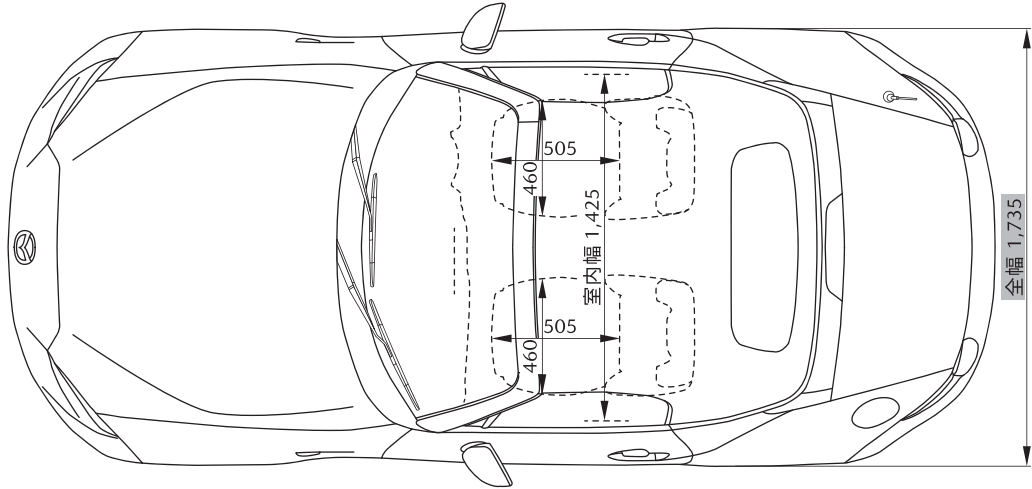
こちらでマツダ先進安全技術 i-ACTIVSENSE ガイドブックをご覧ください。▶



*対象車種、サボカーSの区分についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧下さい。

S Leather Package

単位 (mm)



●寸法は、社内測定値となります(部を除く)。